



## 第9回常任理事会

**日時** 平成24年8月14日(火) 18:00~20:30  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・岡部・伊藤・生駒各常任理事、中村・大口各監事  
(事務局：島影事務局長ほか12名)

### 協議事項

**第1号** 北海道医師会定款変更案の停止条件付き決議に関する件(深澤常任理事)

**第2号** 北海道医師会関連諸規程の停止条件付き決議に関する件(深澤常任理事)

- (1) 北海道医師会定款施行規則
- (2) 北海道医師会裁定委員会規則
- (3) 北海道医師会代議員会議事規則
- (4) 北海道医師会代議員会議事運営委員会規則
- (5) 北海道医師会役員退任慰労金贈呈規程の廃止と北海道医師会役員報酬規程の制定

定款等検討委員会の答申に沿う当会定款並びに関連する5つの規程の変更案を承認。定款変更案の附則に記載する最初の役員は、平成25年3月の定時代議員会で選出後に記載する。これら変更案は一般社団法人の認可を受け、移行登記をした日から施行される停止条件付きとして臨時代議員会で議決を得ることを承認。また、北海道への申請後に、北海道公益認定等審議会の審査で定款・諸規程変更案に字句修正等の必要が生じた場合には、会長一任で修正することについても臨時代議員会で了承を得ることとする。

**第3号** 第138回北海道医師会臨時代議員会の開催に関する件(深澤常任理事)

9月16日(日)午前10時から当会館8階会議室で開催する臨時代議員会の日程と提出議題を決定。

**第4号** 平成24年北海道医師会臨時総会の開催に関する件(深澤常任理事)

9月16日(日)午後2時30分から当会館8階会議室で開催する臨時総会の提出議題を決定。

**第5号** 平成24年度北海道医師会賞受賞者に関する件(渡邊常任理事)

8月7日の受賞者選定委員会で選定された6名を本年度の受賞者と決定。

**第6号** 第2回郡市医師会長協議会の開催に関する件(深澤常任理事)

11月11日(日)午前10時から当会館8階会議室で開催することと決定。

**第7号** 北海道医師会創立65周年記念行事の開催に関する件(深澤常任理事)

11月11日(日)午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

**第8号** 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座77件、道医認定生涯教育講座62件、合計139件を承認することと決定。

### 報告事項

**1. 北海道医師会定款等検討委員会答申について**  
(深澤常任理事)

協議事項第1号・第2号で併せて報告。

**2. 第2回電力需給対策に関する打合せ会[7月24日(火)]について**(北野常任理事)

北海道より今夏の計画停電における相談窓口の設置と国への追加要望、北海道電力より計画停電グループ番号の変更の経緯、当会より先般実施した通電対象医療機関の調査について報告を行った。当会から、北海道に対して国に通電対象医療機関の選定基準の見直しを求め、また北海道電力に対して地域の実情を反映した柔軟な通電の対応を要望した。今夏の計画停電は実施されない見通しだが、今後、冬の対策に早急に取り組む必要がある。

**3. 都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会[7月26日(木)]について**

(目黒常任理事、長瀬会長)

救急災害医療を巡る諸問題についての報告に続き、初めてのプログラムとして、日本医師会・埼玉県医師会・当会の3者によるテレビ会議を用いた災害時の通信デモンストレーションが行われた。宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力により、超高速インターネット衛星「きずな」を用いて、クラウド・コンピューティングも利用し、シナリオ1「札幌市で大地震が発生」、シナリオ2「東京都が大型台風と大地震に同時に襲われ、日本医師会の機能が停止」の想定のもと、長瀬会長がテレビ会議にて対応した。その後、災害医療支援者のメンタルヘルス、法的課題への対応についての講義があり、JMAT活動報告として、秋田・兵庫・福島各県医師会からの報告が行われた。参加者はテレビ会議等を含め176名であった。

**4. 第8回男女共同参画フォーラム[7月28日(土)・富山市]について**(藤井常任理事)

富山県医師会の担当により開催された。渥美由喜氏(厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員/東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)による基調講演「医療機関におけるワークライフバランス」に続いて、日医男女共同参画委員会、日医女性医師支援センター事業について報告があった。パネルディスカッション「変わる～男女共同参画が啓(ひら)くワークライフバランス」4名の演者がそれぞれの立場から講演を行った。続いて、総合討論の後、本フォーラムの宣言が採択された。参加者は359名(うち男性154名、女性205名)。次期は、山口県医師会担当で来年7月27日(土)に開催予定。

#### 5. 第25回全国有床診療所連絡協議会[7月28日(土)～29日(日)・宮崎市]について

宮崎県医師会・稲倉会長が大会長となり「新しい有床診療のあり方～無床化した診療所からの提言～」をメインテーマに開催され、参加者は約400名であった。第1日目は総会に引き続き日医・今村副会長ほか厚生労働省の担当者2名による講演があり、第2日目はメインテーマをもとに4名によるシンポジウムと日医・横倉会長の特別講演が行われた。来年度は8月3日・4日に神戸市で開催される。

#### 6. 東京都医師会理事との懇談会[7月29日(日)]について(前川常任理事)

東京都医師会から野中会長以下19名、当会から長瀬会長以下14名が参加し懇談の後、野中会長から「住み慣れた地域での人生を支える地域医療－医療保険と介護保険の活用を通じて－」と題して講演が行われた。

#### 7. 医学生との座談会[7月30日(月)]について

(藤井常任理事)

今後の効果的な北海道医師会女性医師等支援相談窓口事業推進の参考にすることを目的とし、医学生との意見交換を通じて、医師として働き続けることに対する意識と必要な環境整備などに関する意見を把握するため開催した。北大、札幌医大、旭川医大と国際医学生連盟(IFMSA-Japan)の学生男女各4名と子育て中の医師夫妻が参加。医師のキャリアアップと人生設計をテーマに、医学生に将来への期待や不安などを伺った。本座談会の内容は、北海道医報9月号付録で報告する予定。

#### 8. 第1回北海道糖尿病対策推進会議[8月1日(水)]について(長瀬会長)

新年度役員(幹事)の交代について説明が行われ、新役員4名の紹介後、平成24年度事業について報告が行われ、平成24年度事業計画について協議した。

#### 9. 北海道医師会賞受賞者選定委員会[8月7日(火)]について(渡邊常任理事)

北海道大学医師会、札幌医科大学医師会、旭川医科大学医師会より推薦のあった本年度北海道医師会賞受賞候補者6名について審査(委員長:北海道大学

大学院医学研究科長・玉木長良氏)を行った。慎重審議の結果、6名全員を受賞者に決定した。

#### 10. 医育ブロック会議[8月7日(火)]について

(深澤常任理事)

三医育機関医師会長ならびに学長等の出席のもと「三大学医学部卒業生の動向について」をテーマに長瀬会長から話題提供の後、意見交換を行った。

#### 11. 日医各委員会報告

##### (1) 母体保護法等に関する検討委員会[8月8日(水)]について(藤井常任理事)

会長諮問「母体保護法指定医師の指定基準モデル等の改正について(指定・更新ならびに研修のあり方を含む)」を受け、委員長に熊本県医師会会長・福田稔氏、副委員長に岡山県医師会副会長・山崎善久氏が指名され、今後の進め方についてディスカッションを行った。

#### 12. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道DMAT検討ワーキンググループ[8月1日(水)]について(目黒常任理事)

今年度の実動訓練について協議した。自衛隊から提案のあった国民保護法に基づいた協同訓練では、DMAT参加のコンセンサスが得られないことから、想定を読み替えることで、9月1日・2日の開催に向けて調整することとなった。

##### (2) 母子保健マニュアル(児童虐待予防編)の改訂に係る検討委員会[8月2日(木)]について

(三戸常任理事)

母子保健マニュアル改定の趣旨・今後の進め方について説明があり、子育てを取り巻く北海道の現状、児童虐待未然防止対策の成果と今後の課題の報告後、子育てにおける環境や家族の変化、虐待を未然に予防する対策について意見交換が行われた。今回は12月に開催される予定。

##### (3) 北海道介護保険審査会(三者代表合議体)[8月2日(木)]について(前川常任理事)

介護保険料賦課処分に係る審理請求4件と要介護認定に係る審理請求1件について審査した。

##### (4) 第4回北海道がん診療連携協議会[8月4日(土)]について(畑副会長)

第5回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会ならびに北海道がん診療連携拠点病院連絡協議会各専門部会(研修、相談・情報、がん登録、診療支援、地域連携クリティカルパス)の進捗状況の報告後、北海道よりがん診療連携拠点病院の推薦要綱および小児がん拠点病院の整備方針の報告、北海道歯科医師会よりがん患者の口腔管理に関する医科歯科医療連携事業について報告があった。その後、これまでのがん対策の進捗状況および次期がん対策について意見交換を行った。



(5) 第1回北海道後発医薬品安心使用協議会[8月8日(水)]について(三宅副会長)

報告事項として、先進地視察(福岡県)の状況について道担当者より報告が行われた。続いて後発医薬品に係る取組み状況に関し、北海道、北海道薬剤師会、北海道医薬品卸売業協会、日本ジェネリック製薬協会、砂川市立病院における取組み状況がそれぞれ報告があった。協議事項では「後発医薬品採用ガイドブック」の作成に関し協議を行い、その結果、ガイドブックを作成することで了承した。

(6) 北海道医療費適正化計画検討協議会[8月10日(金)]について(畑副会長)

会長に小職が引続き選出された後、第1期北海道医療費適正化計画の概要と進捗状況の説明があり、25年度からの次期医療費適正化計画策定に向け基本方針等について意見交換を行った。

### 13. 各部報告

(1) 第1回会館中長期保全計画検討委員会[8月13日(月)]について(三戸常任理事)

委員長に小職、副委員長に渡邊財務部副部長を選出。今後の北海道医師会館中長期保全計画について、6種類の計画(案)概要を協議した。次回委員会では現在の建物を改修する形の3つの案(耐震補強改修計画、中長期保全計画等)、次々回委員会では現地での建替えやテナントビルに移転する等の3つの案をそれぞれ詳細に検討することとした。

(2) 第2回総務部・財務部合同担当理事会[8月13日(月)]について(三戸常任理事)

酒井公認会計士より、平成25年4月より一般法人へ移行後の決算は、新・新会計基準に基づく決算書が必要になるため「新様式の決算報告書」のサンプル様式が示された。新様式は平成24年度会計決算(平成25年6月に予定される第140回定時代議員会)から適用予定のため、新様式に対する理解をいただくために次回理事会及び第138回臨時時代議員会で参考資料として配布することとした。

### 14. その他

(1) 会員数について(深澤常任理事)

平成24年7月31日現在の会員数は、8,373名で、内訳はA会員2,535名、B1会員592名、B2会員4,572名、C1会員110名、C2会員159名、C3会員405名となっている。また、日医会員は6,001名と減少傾向で、6,000名の大台を割り込む目前であり今後何らかの対応を検討したい。

### 道総医協関連事項

1. 第3回計画特別委員会[7月31日(火)]について(宮本副会長)

現北海道医療計画の進捗状況について説明があり、その後、北海道医療計画〔改訂版〕の骨子および

び二次医療圏の設定について意見交換を行った。

2. 第1回地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会[8月8日(水)]について(畑副会長)

北海道医療計画の見直し(計画の進め方・目標値)について報告があり、糖尿病領域についての骨子案、今後の調査項目を協議した。

## 第3回理事会

日時 平成24年8月18日(土)16:00~17:32

場所 北海道医師会 9階「理事会室」

出席者 長瀬会長、三宅・畑各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・岡部・伊藤・生駒各常任理事、山光・島田・伊藤・津田・沖・倉増・山下・古屋・堀・飯塚各理事、中村・大口各監事、塩野議長、本間副議長  
(事務局:島影事務局長ほか12名)

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶

### 3. 報告事項

(1) 北海道医師会定款等検討委員会答申について(深澤常任理事)

協議事項第1号・第2号の提案説明で併せて報告。

(2) 日医各委員会報告

1) 日医各委員会の諮問事項について

(深澤常任理事)

日医各委員会に係る当会関係委員と現在までに開かれた委員会の諮問事項等につき報告した。

2) 医療IT委員会[7月5日(木)]について

(伊藤常任理事)

横倉会長から、委員長に岐阜県医師会・川出靖彦副会長、副委員長に愛媛県医師会・佐伯光義常任理事と宮城県医師会・登米祐也常任理事が指名された。次いで、横倉会長から諮問「ITを活用した地域医療連携の実践について」が川出委員長に手交された。引き続いて、石川常任理事から高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部医療情報化に関するタスクフォース各種作業部会報告書およびマイナンバー法案等について、日医総研・上野主席研究員からORCA普及状況およびITを使った地域医療連携リスト等について、それぞれ報告がなされた。最後に、今後の議論の進め方について協議を行った。

3) 介護保険委員会[7月12日(木)]について

(前川常任理事)

委員長には東京都医師会・野中博会長、副委員長には慶応義塾大学・高木安雄教授が選

任された。会長諮問は「地域づくりでの地域医師会の役割」。今後、地域の取組についての実例を発表し、具体的に答申に向けて討議していくこととなった。

#### 4) 日本医師会綱領(仮称)検討委員会[7月13日(金)]について(古屋理事)

日医・横倉会長から、日医という組織の役割や理念を国民に明確に示し、また日医会員であることの意味を会員に理解してもらう必要がある、そのための綱領となるものの検討をお願いし、新しい公益社団法人日本医師会の旗印として掲げたいとの挨拶の後、委員長に東京都医師会・野中博会長、副委員長に京都府医師会・森洋一会長が選出された。その後、今後の方向性についてディスカッションを行ったが「綱領」という言葉はわかりにくいので、具体的に盛り込むべき内容やキーワードを検討していく中で再度協議することになった。

#### 5) 医療政策会議[7月20日(金)]について(長瀬会長)

議長に慶應義塾大学大学院経営管理研究科・田中滋教授、副議長に神奈川県医師会・大久保吉修会長を指名。会長諮問「日本における社会保障のあり方—欧州の社会保障の比較・検証から—」が示され、今後の進め方についてディスカッションを行った。

#### 6) 医療安全対策委員会[7月23日(月)]について(水谷常任理事)

委員長には農林中金・北原光夫健康管理室長、副委員長には大阪府医師会・松原謙二副会長が選任された。会長諮問は「成果が見える医療安全を目指して」。聖路加国際病院の取組について発表があり、医療安全ミーティング、医療安全リーダー会議、業務の標準化や改善活動について興味深い内容が紹介された。次回は東北大学の上原鳴夫教授を迎えて具体的なノウハウをご教示いただく。

#### 7) 産業保健委員会[7月25日(水)]について(生駒常任理事)

委員長に北里研究所常任理事および北里大学名誉教授・相澤好治氏、副委員長に茨城県医師会・諸岡信裕副会長が選出され、会長諮問「地域産業保健センター事業、産業保健推進センター事業並びにメンタルヘルス対策支援センター事業の一括運営」に関してフリートーキングを行った。

#### 8) 学校保健委員会[8月10日(金)]について(三戸常任理事)

委員長には日本子ども家庭総合研究所・衛藤隆所長、副委員長には大分県医師会・藤本保常任理事が選任された。会長諮問は「これ

からの学校検診と健康教育」。文部科学省の中央情勢、学校保健講習会について説明が行われ、フリートーキングを行った。

#### (3) その他

##### 1) 「日本医師会 2012年度診療報酬改定調査結果」について(橋本常任理事)

日医は6～7月に実施した診療報酬改定調査の結果をまとめた。今改定の柱の一つである在宅医療では、強化型の在宅療養支援診療所(以下「在支診」)が創設された。現在、在支診でない診療所で、今後、新たに在支診の届出をしない診療所は96.8%にも及んでいる。これは「24時間訪問看護」「24時間往診」の体制が確保できない等の理由によるもので、近隣医療機関との連携体制構築が課題となっている。また、今改定において、管理栄養士の配置が入院基本料の算定要件となったが、有床診療所のうち小児科で100%、眼科で93.8%が管理栄養士配置の目処が立っていないことから、日医は算定要件の見直しを強く求めるとしている。

##### 2) 新々公益法人会計基準に基づく決算参考資料について(三戸常任理事)

このたび酒井公認会計士より、平成25年4月より一般法人へ移行後の決算は、新・新会計基準に基づく決算書が必要になるため、平成23年度決算データに基づいて「新様式の決算報告書」のサンプル様式が示された。新様式は平成24年度会計決算(平成25年6月に予定される第140回定時代議員会で上程)から適用予定のため、新様式に対する理解をいただくために第138回臨時時代議員会で参考資料として配布する。

##### 3) 会員数について(深澤常任理事)

平成24年7月31日現在の道医会員数は、8,373名であるが、日医会員は6,001名と6,000名の大台を割り込む目前であり、当会選出日医代議員数に影響することから、郡市医師会入会時に日医入会についても是非勧めていただくよう配慮を求めたい。

#### 4. 承認事項

##### (1) 日本医師会医療政策会議委員の委嘱について(深澤常任理事)

横倉日医会長から個人指名で依頼のあった医療政策会議委員として、依頼のとおり長瀬会長を推薦することを承認決定。

##### (2) 外部各委員会等委員の推薦について(深澤常任理事)

平成24年度医療機関等連携強化のための検討会構成員に三戸常任理事を、母子保健マニュアル(児童虐待予防編)の改訂に係る検討会助言者に三戸・藤井各常任理事を、医療系在宅介護

サービス未提供地域におけるサービス提供体制に関する検討会委員に伊藤常任理事を、北海道障害児通所給付費等不服審査会委員に深澤・生駒各常任理事を、北海道歯科保健医療推進委員会委員に岡部常任理事を推薦することと決定。

## 5. 協議事項

第1号 北海道医師会定款変更案の停止条件付き決議に関する件（深澤常任理事）

第2号 北海道医師会関連諸規程の停止条件付き決議に関する件（深澤常任理事）

- (1) 北海道医師会定款施行規則
- (2) 北海道医師会裁定委員会規則
- (3) 北海道医師会代議員会議事規則
- (4) 北海道医師会代議員会議事運営委員会規則
- (5) 北海道医師会役員退任慰労金贈呈規程の廃止と北海道医師会役員報酬規程の制定

定款等検討委員会の答申に沿う当会定款並びに関連する5つの規程の変更案を承認。定款変更案の附則に記載する最初の役員は、平成25年3月の定時代議員会で選出後に記載する。これら変更案は一般社団法人の認可を受け、移行登記をした日から施行される停止条件付きとして臨時代議員会で議決を得ることを承認。また、北海道への申請後に、北海道公益認定等審議会の審査で定款・諸規程変更案に字句修正等の必要が生じた場合には、会長一任で修正することについても臨時代議員会で了承を得る。

第3号 第138回北海道医師会臨時代議員会の開催に関する件（深澤常任理事）

9月16日(日)午前10時から当会館8階会議室で開催する臨時代議員会の日程と提出議題を決定。

第4号 平成24年北海道医師会臨時総会の開催に関する件（深澤常任理事）

9月16日(日)午後2時30分から当会館8階会議室で開催する臨時総会の提出議題を決定。

第5号 平成24年度北海道医師会賞受賞者に関する件（目黒常任理事）

8月7日の受賞者選定委員会で選定された6名を本年度の受賞者と決定。

第6号 第2回郡市医師会長協議会の開催に関する件（深澤常任理事）

11月11日(日)午前10時から当会館8階会議室で開催することと決定。

第7号 北海道医師会創立65周年記念行事の開催に関する件（深澤常任理事）

11月11日(日)午後1時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第8号 理事提案事項

なし。

第9号 第4回理事会(移動)[10月6日(土)・苫小牧市]の開催スケジュールに関する件

(深澤常任理事)

10月6日(土)午後4時から苫小牧グランドホテルニュー王子で開催と決定。

## 6. 道総医協関連事項（三宅副会長）

平成24年5月26日開催の第2回理事会以降の会議について報告した。

## 7. 閉会

# 第10回常任理事会

日時 平成24年8月28日(火) 18:00~19:55

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・目黒・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒各常任理事、水元・中村・大口各監事  
(事務局：島影事務局長ほか12名)

## 協議事項

第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邊常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座33件、道医認定生涯教育講座33件、合計66件を承認することと決定。

第2号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（生駒常任理事）

認定要件を満たした新規5名、更新21名の申請を承認。日医へ申請することと決定。

第3号 その他

- (1) 9月行事予定に関する件（事務局）

## 報告事項

1. 地域医療に関わる地域別意見交換会[7月11日(水)・稚内市、8月22日(水)・岩内町]について  
(伊藤・北野各常任理事)

地域医療の確保に苦慮している各地の状況を把握するために、長瀬会長はじめ地域医療部担当役員が各地域に出向き開催している。今年度は、宗谷・岩内古宇郡医師会を対象に実施した。出席者数は宗谷が18名、岩内古宇郡が29名であり、2会場ともに北海道関係者が傍聴した。

2. うつ病・自殺予防対策モデル事業運営協議会立上げ準備会[8月17日(金)・釧路市]について  
(岡部常任理事)

うつ病におけるかかりつけ医と専門医の連携事業について、釧路市で北海道の補助モデル事業として展開することになっており、運営協議会を立ち上げ準備会を開催した。本年度は3回程度の協議会を予定。静岡県富士市を参考にした、北海道版「一般医のためのうつ病治療ガイドライン」を用い、自殺予防対策の貢献に向けて、分析、検証していきたいと考えている。

3. 政経問題懇話会[8月18日(土)]について  
(直江常任理事)

札幌市立大学デザイン学部・原俊彦教授を招聘し



「過疎化と地域医療・福祉の将来像」というテーマで、過疎化の現状や高齢化の進行が地域社会に及ぼす影響ならびに今後の地域医療・福祉のあり方等について講演いただいた。

#### 4. 地域医療を担う青少年育成事業[8月24日(金)・本別町]について(長瀬会長)

地域の医師不足に対応するため、将来、北海道の地域医療を担う人材を育成することを目的に、市町村・北海道・北海道医師会が連携した初めての事業を十勝管内本別町(本別中央小学校体育館)において開催した。小学5～6年生91名を対象に、小職の講演(テーマ:夢を育てよう)のほか医療機器の展示、検査機器の実演等による医療体験を実施。また、同日夕刻より場所を移し、PTA保護者と一般町民約90名を対象に医療講座(いざよい会)を開催し、「地域の医療を考える」をテーマに小職より講演を行った。

#### 5. 第2回会費・負担金等検討委員会[8月25日(土)]について(深澤常任理事)

前回示された3つの検討事項につき協議した。会費減免については、現行の適用条件(年齢77歳以上)に会員期間20年以上を加えた方がよいとの意見がほとんどであった。定率会費については、賦課対象を「理事長」から「管理者」に改めることで合意を得た。開業時負担金については、新規開業だけでなく、業継承や理事長交代の場合でも同額を賦課していることが問題であると意見が一致し、次回までに各委員に具体的なケースを示しそれぞれ考え方をまとめることとなった。

#### 6. がん対策推進シンポジウム[8月25日(土)・室蘭市]について(長瀬会長)

本年度第2回のシンポジウムがリレー・フォー・ライフ室蘭に合わせ開催された。北海道よりがん対策推進条例の説明後、がん患者からの講話があり、その後「絆～がん患者とその家族を支える～」をテーマに医師、患者、家族などによる座談会が行われた。

#### 7. 北海道マラソン[8月26日(日)]について

(岡部常任理事)

昨年は昼であったスタートが、今年は朝9時となり、医療救護班として綿密な対応をすべく慎重に会議を重ねた。北光記念クリニックの佐久間一郎所長と松田整形外科記念病院の菅原誠院長が中心となり、医療スタッフ770名余の協力のもとに成功裏に終了した。熱中症などで病院搬送された人員は19名で、うちマラソンランナーは14名であった。

#### 8. 日医理事会報告(長瀬会長)

第65回日本医師会設立記念医学大会被表彰者選考の件において、北海道からは小職と北野・渡邊両常任理事の受賞が決定。他には、平成23年度日本医師会決算の件等につき協議した。なお事前の打合せ会にて、個別指導における選定理由(高点数)の通知について、職場におけるパワーハラスメント対策要綱について、チーム医療推進会議への意見書の提出

について、三党合意による「社会保障・税の一体改革関連法案」及び「次期医療費適正化基本方針」への日本医師会の対応について、「医療メディエーター」育成について、意見交換をした。

#### 9. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道精神保健福祉審議会第3回・第4回部会[第3回:8月2日(木)、第4回:8月16日(木)]について(直江常任理事)

第3回部会は、前回開催された部会の結果確認と精神疾患(うつ病と認知症)の医療連携体制を協議した。第4回部会では、第3回部会の結果確認作業と精神科救急・身体合併症・医療観察法のことについて種々意見を聞き、今後の運営について協議した。今後は、各地域における医療提供体制の課題解決するに当たっての数値目標の設定、評価、講評のプロセスを検討していく。

##### (2) 北海道医療審議会地域医療部会[8月21日(火)]について(三宅副会長)

部会長に小職が、部会長代理に宮本副会長が選出された。引き続き、地域医療支援病院の承認申請があった2件について協議し、院内に設置される委員会の構成メンバーを確認の上、審議することとなった。その後、へき地等病院の医師配置標準特例措置申請があった1件ならびに診療所(産婦人科)における病床設置の届出があった2件について審議を行い、承認した。

##### (3) 北海道医療審議会医療法人部会[8月21日(火)]について(畑副会長)

部会長に小職が、部会長代理に三宅副会長が選出された。今回の案件は、社会医療法人が5件、医科診療所の設立14件、医科診療所の解散8件が上程され、審議の結果すべて承認された。

#### 道総医協関連事項

##### 1. 第1回地域医療専門委員会看護対策小委員会[7月26日(木)]について(北野常任理事)

新人看護職員臨床実践能力向上研修支援事業について説明があり、平成24年度から「新人看護職員研修情報交換シート」を作成し、統一した内容での情報交換を行いたいという提案があり了承された。続いて、北海道医療計画の見直しの看護職員確保対策について説明を受け、協議の結果、骨子(案)が了承され、次回は素案の検討に入ることとなった。

##### 2. 第2回救急医療専門委員会[8月21日(火)]について(目黒常任理事)

北海道消防防災ヘリコプターによる救急患者搬送の考え方について説明があり、運航要領の改正案と事後検証の実施が了承された。その後、北海道医療計画の見直しに関する、救急医療のほか災害医療、小児医療(小児救急)の骨子が示された。また、計画見直しにあたり、救命救急センターに対してアンケート調査を実施することとした。

### 3. 第3回地域医療専門委員会[8月23日(木)]について(宮本副会長)

北海道医療計画の見直しに係る終末期医療を含む在宅医療の提供体制、へき地医療体制および小児医療体制について、指標・現状分析・数値目標の考え方等の協議を行った。

### 4. 第1回地域保健専門委員会循環器疾患対策小委員会(急性心筋梗塞領域)[8月23日(木)]について(水谷常任理事)

本年度から、循環器疾患対策小委員会に急性心筋梗塞領域と脳卒中領域が追加され協議することに

なった。北海道医療計画の見直しについて報告後、北海道医療計画における急性心筋梗塞の対応できる医療機関の基準および医療連携のクリティカルパスの導入について協議した。次回は、11月12日(月)に開催。

### 5. 第4回計画特別委員会[8月27日(月)]について(宮本副会長)

新・北海道保健医療福祉計画推進状況報告書(案)について説明があり、その後、北海道医療計画〔改訂版〕の骨子(案)および二次医療圏の設定についての考え方が示され、了承した。

## 道医の動き

- 8月13日 三役会、会館中長期保全計画検討委員会、総務部・財務部合同担当理事会
- 8月14日 第9回常任理事会、地域保健部担当理事会、広報委員会
- 8月17日 女性医師等就労支援事業周知のための臨床研修指定病院訪問(砂川市立病院、長瀬会長、藤井常任理事)、うつ病・自殺予防対策モデル事業運営協議会準備会(釧路市、岡部常任理事)
- 8月18日 第3回理事会、政経問題懇話会
- 8月21日 日医理事会(長瀬会長)
- 8月22日 医事紛争処理委員会、地域医療に関わる地域別意見交換会(岩内町、長瀬会長、宮本副会長、北野・目黒・伊藤各常任理事)、日医周産期・乳幼児保健検討委員会(津田理事)
- 8月24日 地域医療を担う青少年育成事業(本別町、長瀬会長)
- 8月25日 会費・負担金等検討委員会
- 8月27日 三役会
- 8月28日 第10回常任理事会、医療政策部担当理事会
- 8月29日 女性医師等就労支援事業周知のための臨床研修指定病院訪問(手稲溪仁会病院、長瀬会長、畑副会長)、患者接遇に関する研修会(深川市、伊藤常任理事)、救急医療フォーラム打合せ会(岩見沢

- 市、目黒常任理事)、緊急臨時的医師派遣事業運営委員会、日医社会保険診療報酬検討委員会(橋本常任理事)
- 8月30日 日医国民生活安全対策委員会(山下理事)、日医公衆衛生委員会(三宅副会長)、日医生涯教育推進委員会(渡邊常任理事)
- 8月31日 介護保険制度・障害者自立支援法にかかわる主治医研修会(旭川市、長瀬会長、前川・伊藤各常任理事)、日医医師会共同利用施設検討委員会(伊藤理事)、日医医療関係者検討委員会(北野常任理事)
- 9月3日 病院管理研修会に関する打合会
- 9月4日 臨床研修医との懇談会(函館市、長瀬会長、畑副会長)、勤務医懇談会(函館市、長瀬会長、畑副会長、藤井・北野・目黒・橋本各常任理事)
- 9月5日 日医地域医療対策委員会(三宅副会長)、日医労災・自賠責委員会(深澤常任理事)
- 9月6日 産業保健研修会(小樽市、生駒常任理事)、医療事故防止研修会(釧路市、三宅副会長、橋本常任理事)、日医がん対策推進委員会(畑副会長)
- 9月7日 介護保険制度・障害者自立支援法にかかわる主治医研修会(帯広市、長瀬会長、三宅副会長)、日医男女共同参画委員会(藤井常任理事)、日医医療安全対策委員会(水谷常任理事)、日医綱領(仮称)検討委員会(古屋理事)
- 9月10日 三役会、表彰選考委員会、生活保護医療に関する打合せ、患者接遇に関する研修会(美唄市、伊藤常任理事)